

所属の大学では、主に初年次の学生を対象とした日本語ライティング科目を担当しています。最初の授業で、学生にシラバスを示しながら毎週 800 字程度の文章を書く課題があることを伝えると、教室の雰囲気は暗くなります。学生にとって 800 字はかなり負担になるらしく、そんなに長く書けない、長く書く必要もないなどといいます。学生の言い分はもつとで、「簡潔に書く」「ちょっと見ればすぐに分かるように書く」「省略して短く表現するのがよい」ことがもてはやされる社会において、長々とした文章を書くのは時代の流れに逆行しています。そこでとりあえず、本学の卒論は 16,000 字以上書くことが条件になっていて、そのための練習だと伝えます。

実際の授業では、毎回1つの課題を示してレポートを書かせます。一般にレポートは、〈問い〉、〈根拠〉、〈理由づけ〉、〈結論〉などで構成します。〈問い〉や〈根拠〉、〈結論〉では書くことがほぼ決まっています、これらの箇所の分量を増やすのは難しいので、〈理由づけ〉の分量を増やすことになります。その結果、授業での指導は〈理由づけ〉を詳しく書くことに特化したものになります。(当該科目は、ライティングの基本のキを学ぶ科目で、レポートの〈理由づけ〉に焦点化した論述方法の習得をめざしています。)

この授業で取り上げるのは、たとえば次のような問題です。

《練習問題》あなたは、全国に 100 店舗を展開するスポーツジム会社の企画開発部で働いています。ある日、上司から新入社員向けに「わが社が今後5年間に取り組む事業内容」についての研修資料(レポート)を作成するよう指示されました。そのレポートでは、会員登録している顧客への調査をもとに、今後特に重点化しようとしている事業(施設・設備・プログラム等の充実)について示すよう求められました。そこで、あなたは次の2つの調査結果(図1「登録会員数の推移」、図2「入会の目的」)を用いて、「誰を対象にしたどのような内容に重点化した事業を計画するか」を示すレポートを作成することにしました。そのレポートを作成するのが、今回の課題です。レポートは、いつものように指定した形式で書くこと。

〈根拠〉として示した図から適切な項目や数値を選択すること、複数の項目を分類したり数値の変化を指摘したり対比的な表現を用いたりして強調することなどを指導すると、たとえば、次のようなちょっと長めの文章が書けるようになります。

図1をみると、2000年以降、登録会員数が前年比15%程度で堅調に伸びている。その中で、特に女性会員の増加が著しい。2000年～2020年までの会員数の変化を見ると、男性がほぼ4,000人でほとんど変わっていないのに対して、女性は2,800人から9,800人と、約3.5倍に急増している。過去20年間の会員数の増加は、女性会員の増加によってもたらされたといえる。…略…

このような文章が書けるようになれば次の段階に進みます。学生に「女性の会員数が急増しているからといって女性を対象にした事業に注力するのがよい、ということが言えるだろうか」と問いかけると、学生は当然だという顔をします。そこで、話題を変えて次のような話をします。「仮にあなたは自動車メーカーの海外事業

統括部で働いているとして、ある日、北米工場の責任者から次のような提案が届いたとする。そこには、当社の新車登録台数が直近の5年間で前年比 15%の割合で急増し続けている図とともに、北米工場の生産規模が2倍になるように設備を拡張したい、と書かれていた。あなたはこの提案について、どのような意見を添えて直属の上司に報告するか。」

学生の多くが肯定的な意見を添えて報告するというので、「設備拡張後に登録台数が減少に転じたらどうするの?」「今後も増加すると予想する根拠は何?」「そもそもなぜ登録台数が急増したの?」「同業他社の登録台数はどうなっているの?」「2倍という理由は何? 1.5 倍ではダメなの?」と問いかけてみます。すると学生は、数字ばかりを追いかけて、その数字の背後にある現実を見ていなかったことに気づくようになってきます。

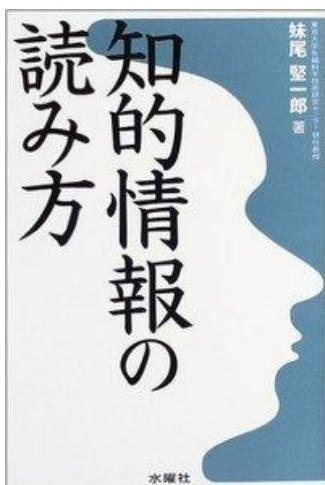
同じようにして、女性会員の急増にはどんな背景があったのかを想像させると、「女性を対象にしたイベントや広報活動の成果」、「女性を対象にした施設改善の影響」などをいう学生が出てきます。そのような発想が重要であることを指摘した上で、社会情勢や社会の変化と関連づけるよう促します。すると、「健康志向」「モノからコトへの消費行動の変化」「働く女性の増加」「女性の社会進出」という言葉が出てくるようになります。こうなればしめたものです。これらを用いて女性会員が急増した背景を推測するとともに、今後も女性会員の増加が予想される理由を考えるようになれば、さきの続きを 200 字、300 字と書き足すのはたやすいことです。また、その推測や予想が正しいことを証明するには、さらに別の資料が必要であることに気づくようになり、ますます長々と文章を書くこととなります。

このように長々とした文章を書く指導が学生に役立っているのか不安になることもありますが、3年次以降の専門科目やゼミでのレポート作成、論文執筆の際にほんの少しでも寄与することを期待して、問題づくりと指導改善に取り組んでいます。練習問題や指導内容をさらに魅力あるものにするために、ビジネス文章表現を受講される皆様から貴重なご経験とご意見をたまわりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

>>次号は、3 学期「よくわかる行動経済学入門」講師 山根 智沙子先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

木本先生おすすめの書籍です。



『知的情報の読み方』妹尾堅一郎著 水曜社 2004 年

ビジネスパーソン向けに、ビジネス情報の読み方を示した本。ただし、決してハウツー本ではない、読むことの本質を鋭く解き明かしている。読む対象は、新聞記事、統計調査、百科事典、ウェブサイト、専門書、学術論文と広範囲。本書のもとになった原本発行から 20 年を経過しているが、内容は決して色あせていない。コラムで取り上げた「統計資料におけるデータと現実との照合」についても、本書で詳しく論じられている。

◎事務局から◎

2022 年度キャリアアップ・プログラムの受講申し込み受付中です！

1 学期講座の申込締切は、[4月27日\(水\)](#)です。

◇2022 年度 1 学期開講科目のご案内◇

※科目名からシラバスを閲覧できます。

■「[ビジネス文章表現](#)」

講師：教養教育部 教授 木本一成

分かりやすく説得力のある文章を書くために、ビジネス文章表現の基本や文書作成の考え方について学びます。

★2022 年 5 月 23 日(月)開始(毎週月曜全 6 回)

■「[実践的広告戦略立案の基礎](#)」

講師：メディアビジネス学科 教授 北野 尚人

広告戦略を立案・構築するために必要な知識や視点など、最近のメディア環境と情報環境の変化を踏まえて考えます。具体的な広告戦略の構築も体験していただきます。

★2022 年 5 月 24 日(火)開始(毎週火曜日全 6 回)

■「[NPO でソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを創り出そう](#)」

講師：スポーツ経営学科 准教授 中村隆行

NPO とは何か、何ができるのか、社会貢献しつつ、持続可能な組織をどうやって作るのかについて考えます。

★2022 年 5 月 24 日(火)開始(毎週火曜日全 6 回)

■「[日本経済入門](#)」

講師：経済学科 教授 野北晴子

各回、テーマに関わる専門用語とともに、経済学基本的考え方を解説します。それをベースに日本経済の状況とその背景にある問題について見ていきます。入門クラスですが、経済学の領域の広さの関係上、一部より専門的な内容に至ります。

★2022 年 5 月 25 日(水)開始(毎週水曜日全 6 回)

■「[統計学入門](#)」

講師：ビジネス情報学科 教授 田浦 元

ビジネスの場では、データに基づいて正しい判断をすることが求められています。その基礎となる統計学的な考え方の基礎を学びます。平均、標準偏差といった基本統計量の学習を中心に、相関分析の基礎までを学びます。(この初級クラスでは回帰分析は学びません。)

★2022年5月26日(木)開始(毎週木曜日全6回)

■「[コーポレート・ファイナンス基礎](#)」

講師:経済学科 教授 重本洋一

企業の資金調達や投資活動はどのような判断基準で行えばよいのか?これらの点についてコーポレート・ファイナンス理論を踏まえつつ実例を用いて易しく解説していきます。

★2022年5月20日(金)開始(毎週金曜日全6回)

■「[国際金融の基礎](#)」

講師:経済学科 教授 福居信幸

国際金融とは何か、またそれは私たちの生活にどのような影響を与えているのかを初めて国際金融の世界に触れる方にも分かりやすく解説します。

★2022年5月20日(金)開始(毎週金曜日全6回)

2021年度講座終了後のアンケートに寄せられた受講生の声の一部をお知らせします。

2022年度の受講をご検討の皆さまは、ぜひこちらをご覧ください、受講の参考にさせていただけたらと思います。

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/voice2015.html>

※詳細については、以下URLをご確認ください。

≪キャリアアップ・プログラム≫2・3学期も受講申込受付中!

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)